

saveMLAK は 文化教育施設の 支援活動を行っています。

saveMLAK は、博物館・美術館(Museum)、
図書館(Library)、文書館(Archives)、公民館
(Kominkan)等の文化・教育施設の支援を行うプ
ロジェクトです。

現在は、東日本大震災からの復興支援を中心に
活動を行っています。
今後、少しずつ支援範囲を拡げていく予定です。

被災者、避難者、 ボランティアの方の 質問に答える。

saveMLAK では、寄せられた質問に全国の有志
による回答メンバーが回答する「だれでも・どこで
も Q&A 図書館」プロジェクトを実施しています。



だれでも・どこでも
Q&A 図書館

<http://savemlak.jp/wiki/daredoko>

情報を伝える。 今を動かすために。

saveMLAK では、web サイト(<http://savemlak.jp/>)
を通じて被災・復興状況や、必要とされている情
報の発信を行っています

また、現地を直接訪問し、今、何が必要なのか生
の声を聞いています。

支援のために、各種関連団体との連携・橋渡しを
行うのも、saveMLAK の活動の一つです。

活動を支えるための ご寄付のお願い。

saveMLAK では、支援活動を行うための資金を
集めるため、ご寄付受付や公式グッズ販売を行っ
ています。

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号:00910-6-304781

「saveMLAK ファンド係」

◆みずほ銀行

天満橋支店(店番 463)

普通口座 1178346

「saveMLAK ファンド係」



公式グッズ
MLAKくん Tシャツ

記録を残す。 未来につなぐために。

saveMLAK は、「2011 年東日本大震災デジタル
アーカイブ」プロジェクト(ハーバード大学エドウィ
ン・O・ライシャワー日本研究所)とパートナーシッ
プを結び、日々変わりゆくweb サイトなどのデジタ
ル情報の収集・記録も行っています。



saveMLAK は

M 博物館・美術館

L 図書館

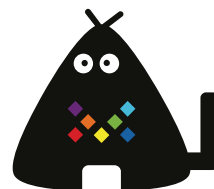
A 文書館

K 公民館

等の文化・教育施設の支援を行っています。

<http://saveMLAK.jp/>





saveMLAK

図書館総合展 saveMLAK フォーラム

「震災復興・将来に備えて私たちができること

～博物館・図書館・文書館・公民館の支援活動を通して～」

東日本大震災から 8 ヶ月。博物館・図書館・文書館・公民館といった文化・教育施設の「今」と「これから」を、saveMLAK の復興活動支援の取り組みから語り合います。

会 場 : パシフィコ横浜 アネックスホール 203 (第 13 回図書館総合展 第 3 会場)

日 時 : 2011 年 11 月 10 日(木)13:00~14:30

登壇者 : 江草由佳(国立教育政策研究所)、細川健裕(北海道開拓の村)、阿児雄之
(東京工業大学博物館)、上田幸夫(日本体育大学)、丸山高弘(山中湖情報創造館)

詳 細 : <http://savemlak.jp/wiki/LF2011>

プログラム(予定)

- | | |
|---------------|---|
| 12:30 | 受付開始 |
| 13:00 - 13:20 | 基調講演 江草由佳
「saveMLAK : 文化・教育施設の間接支援プロジェクト--これまでとこれから--」 |
| 13:20 - 14:15 | パネルディスカッション
パネリスト : 江草由佳、細川健裕、阿児雄之、上田幸夫
司会 : 丸山高弘 |
| 14:15 - 14:30 | まとめ |

参加費 : 無料

申し込み : 参加申し込みフォームへ必要事項を入力の上、お申し込みください。

当日参加も可能ですが、できるだけ事前の参加申し込みをお願いいたします。

参加申し込みフォーム : <http://bit.ly/lf13-savemlak>

主催 : saveMLAK プロジェクト

協力 : アカデミック・リソース・ガイド株式会社

お問い合わせ : saveMLAK プロジェクト <http://savemlak.jp/>

* saveMLAK ブース出展のご案内 *

saveMLAK では、図書館総合展の開催期間中、展示ホール D にてブース出展を行っております。ブースでは、saveMLAK の活動紹介、公式グッズの販売等を行います。saveMLAK プロジェクトをより詳しく知りたい方、グッズを手にとりて購入したい方など、お気軽にお立ち寄りください。みなさまのお越しをお待ちしております。